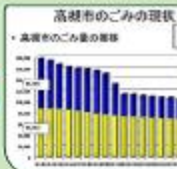


雑がみのリサイクルを進めましょう～高槻のゴミ事情～

この記事は、5月12日(土)開催された全体会議で実施の出前講座の概要を紙上で採録するものです。詳細資料は、環境市民会館のホームページ・Topページのバナー「リサイクル」からご参照下さい。



本高槻市からのお話し

雑がみをご存知ですか？

リサイクルできます！！

雑がみとは



大きいものは新聞と一緒にしぼって、雑がみの15kg袋などに入れて、集団回収やリサイクルごみの日に出してください。

1年間で5千トンもの雑がみが可燃ごみに出されています。

雑がみを出すときの注意点

- 1～4階のゴミステーションは、ゴミを分別して出す。
- 2階のゴミステーションは、分別して出す。分別して出す。分別して出す。
- 3階のゴミステーションは、分別して出す。分別して出す。分別して出す。
- 4階のゴミステーションは、分別して出す。分別して出す。分別して出す。
- 5階のゴミステーションは、分別して出す。分別して出す。分別して出す。

① 雑がみとして出せないもの

- 現金書留の封筒 (「ヨロコビ」印刷用紙・ラミネート紙)
- お弁当箱 (食品容器)
- お弁当の容器 (食品容器)
- お弁当の容器 (食品容器)
- お弁当の容器 (食品容器)

雑がみの出し方の例



お問い合わせ先
環境部 資源循環課
〒570-0801 高槻市中央2-1-4
TEL: 072-676-4646

家庭などから排出されるごみの絶対量は年々減少傾向にあります。リサイクルごみは実績が目標を1割近く下回っていて、たかつきクリーンセンターで焼却する可燃ごみ5万7千トン/年の中にはリサイクル可能なプラスチックや紙類が43%も含まれています。プラスチック類のリサイクル率アップにはペットボトルをリサイクルごみで収集し対応されています。しかしながら、紙類とく可燃ごみに入っているティッシュペーパーの空箱など雑がみのリサイクル率は極めて少ない状況です。このため環境部では上記のようなチラシを作成し【紙屑・紙屑の仕切り紙・包装紙・巻紙の芯】や【はがき・チラシ・封筒・カタログなどの切れ端】などの雑がみを紙屑などに入れ、集団回収・リサイクルごみに出すことにより年間3500トンの古紙リサイクル量の拡大を目指しています。これからは、雑がみのリサイクルで資源の有効活用を進めましょう。

たかつき環境市民会館では各グループの会員を募集しています

エコ&エコVol.3 4

2018年7月25日発行

発行：一般社団法人たかつき環境市民会館
編集：たかつき環境市民会館編集委員会・プレスグループ
問合せ先：たかつき環境市民会館事務局

「事務局のご案内」

- 住所：高槻市出丸町2番30号 高槻市環境緑政課分室内
- TEL・FAX：072-676-4646
- mail：takatsukikanryo21@giza.ocn.ne.jp

この広報紙の編集を手伝ってくださる方を募集しています。ご一緒にいかがですか

P4

自然環境の保全・利用の活動をすすめています



◆ Contents

- 1 津之江公園活かす会_5月・6月の定例作業
- 2～3 新春から初夏までの活動記録(全体活動・グループ活動)
- 4 紙上出前講座：産業環境部・資源循環推進課

◆ イベントの予告

- ◇津之江公園昆虫観察会
9月22日(土)10時～ 会費100円 30名募集：別途申込み要
- ◇旗津緑グリーンハイキング
9月30日(日)09時30分～ 集合場所：上ノ河内川津田橋駐車場

生物多様性について その2(魚の棲み分け)

淡水に棲む魚たちは、どこにいるのか？例えばドジョウは、日本人なら誰でも知っている魚類。どんぶりころころに「お海にはまってさー大波、ドジョウが出てきて こんにちは」と歌われています。ドジョウは、池や田んぼの用水路などに多く棲んでいます。天然記念物イタセン(ワを代表とするタナゴ類はワンドや池。では山や溪流でイメージするのは、イワナやヤマメです。もう少し流れ下ると、強い早い流れにはオイカワ、深みにはカワムツ、石が多いところはカワヨシノボリ、大きな石があればアユが錦鯉を作り、砂灘はカマツカ・・・など、環境の変化に富んでいる(水温、水質、流れの速さ、深さ、底質、河床材や植生など)ほど、多くの種類の魚たちが棲んでいます。

芥川では、これまで40種類以上の魚が確認されていますが、最近の魚々の調査では、確認される個体数も種類もだんだん少なくなっています。川が単調になって環境が悪化しているのではないかと原因は工事か、それとも台風の水による土砂の影響か？気になるところで。 水環境保全G 山崎 文男

たかつき環境市民会館ホームページURL <http://takakan-sub-2-j.jp/>
(変更になりました)

P1

5月12日(土)市民会館大ホールで全体会議及び講演会を行いました。(左、中)会議次第終了後、場所を市役所18F「にんにく」に移して、懇談会を行いました。(右)講演会の概要は、4頁をご参照ください。



2018年度 第1回ミズマワリ
パトロール&駆除活動
水環境保全グループ



芥川瀧川敷で開催された恒例の「いのりマリアフェスタ2018」で水エネ推進グループは、例年通り、高槻市観光協会や女子大学生ボランティアの協力を得て「ミネステーション」の運営を担当(各種分別ゴミ約50袋を収集しました)。

7月14日、あぶやまこどもまつりで里山グループが20名づつを2回に分けて竹の水鉄砲を作りを指導しました。出来具合を量上で試しました。得意には竹トンボか竹鉄砲、そして作った水鉄砲をお土産に持って帰って貰いました。

竹の水鉄砲



遊ぶかな

7月22日(木) 内ヶ池ヨシ再生活動
水環境保全グループ



ヨシ再生の為の移植地に田んぼの土を投入し(右)、ヨシの根茎を植えつけたが(左)、手前の事になりました。移植地が水没するとそこに大きなコイが侵入し、植えたヨシに、根茎に土をひっくり返して、大事な土が流れてしまふのです。そこで目の細かい(小魚は入れる)ネットを懸けてコイが入らない様にしました(中)。これでコイの被害も防げます。ヨシが一杯生えて、小魚のゆりかごになりますように！
(この項はブログから転載、URLは御注ご参照)

◇実施日時:2018年 6月12日(火)
◇パトロール&駆除場 津之江公園池、津之江公園前芥川右岸(写真)
◇今後も城西様へ芥川大瀬区間は小まめに点検し、見つげ次第大きく成長する前に駆除を行って行きたい。



7月13日(金)地震と大雨で延期した津之江公園を活かす会の定例活動を再開しました。夏草が生い茂り、流れてきた草木くずやゴミ、土砂などがあちこちで、地味に、折からの曇りの中、清掃で大汗をかきました。



チャレンジング・グループの積み重ね勉強会 6月15日(土) 芥川の河畔で「よもぎ織」・北摂・高槻生協のダイニングキッチン を借って和気あいあした学習会を行いました



2018年度

活動の記録

育農の写真展は、稲敷の新倉待高産産「城川橋」の工事現場付近です。工事は順調に進んでいるようです。併せて、稲敷のヨシ原の環境見学会も行われています。「稲敷ヨシ原の環境見学会」に関する基本的な考え方(NEXCO西日本HP)参照



ハナナド

たかつき市民環境大学は6月7日(木)生涯学習センターで、第6回の講座を開催しました。今回は、約28名の受講生が応募しました。早草の中入学式の様子です。6月4日(木)の第3回講座「自然観察入門」では、神楽山の第一・第二の草木標本さんの説明を聞きました。(右)6月28日(木)第5回講座「芥川で建上7mを見つめよう」で、講師の長山道也さんの説明を聞き、今年は11種の魚を見ることができました。(左)



津之江公園自然再生エリア植物観察会報告 津之江公園を活かす会は、6月10日(土)津之江公園自然再生エリアで大塚植物観察会の藤井様氏に講師をお願いして植物観察会を開催しました。シロツメクサ、ヒルガオ、ハナナドなどの夏草が可憐な花を咲かせていました。

ヒルガオ

シロツメクサ